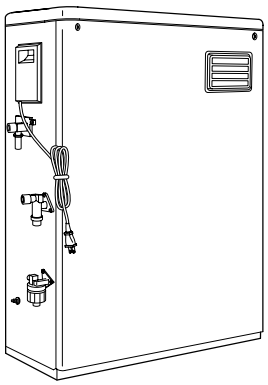
CHOFU

石油瞬間給湯器(直圧)
〔石油小形給湯機〕
取扱説明書



型名
IBF-3870D
IBF-3870DS
IBF-4730D
IBF-4730DS

このたびは長府製品をお買い求めいただきまして まことにありがとうございます。

●この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用の前に、『**所有者票**』(製品に添付)を返送していただき、**所有者登録**を行ってください。
●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
●保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
●取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご連絡ください。
●必ず良質の灯油(JIS1 号灯油)を使用してください。
●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20465934 (K)

もくじ

		ページ
ご使用の前に	**特に注意していただきたいこと**	1
	各部の名称とはたらき	
	外観図	5
	本体構造図	5
	バーナー構造図	5
	台所リモコン	6
	増設リモコン	7
	防水形増設リモコン	8
	使用前の準備	
	燃料	9
	給油	9
	点火前の準備と確認	11
	定量お知らせ機能	12
運転のしかた	**使用方法**	
	給湯運転	13
	表示部明るさの設定	15
	表示部省エネモードの設定	16
	給湯量と給湯温度の早見表	17
	使用上の注意	17
	凍結予防	19
	運転再開始時の注意	21
	安全装置	21
	その他の装置	22
上手に使ってね	**日常の点検・手入れ**	
	点検・手入れのときの注意	23
	点検・手入れの時期、必要項目、方法	23
	定期点検	24
	法定点検	25
故障かな?	**故障・異常の見分けかたと処置方法**	25
	部品交換について	27
	別売部品について	27
	仕　様	28
	アフターサービス	29
	据付け	30
	保証書	巻末

特に注意していただきたいこと

●ご使用の前に、この「**特に注意していただきたいこと**」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示について次のような意味があります。

禁止		ガソリン厳禁	注意		高温注意	指示		電源プラグを抜くこと
		接触禁止			感電注意			アースを接続すること
		分解禁止			一般的な警告・注意			必ず行うこと
		一般的な禁止						

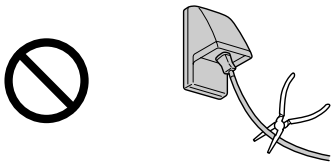
は参考になるページです。

⚠警告(WARNING)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

電源コードを切断して延長しない

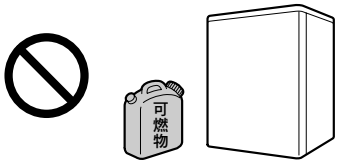


電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。
絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

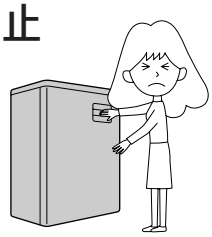
可燃物禁止

壁や周囲の可燃物から充分離して設置してください。
(工事説明書参照)
機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
火災のおそれがあります。



⚠注意(CAUTION)

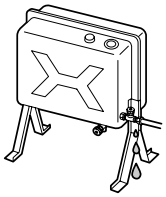
高温部接触禁止



燃焼中や消火直後は、高温部(機器や排気部)に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

油漏れに注意

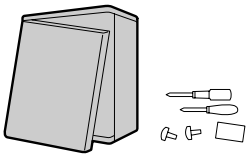
(火災の原因)



機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないことを確認してください。

分解修理・改造の禁止

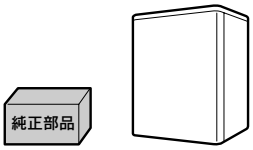
(火災・感電・漏電の原因)



故障や破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

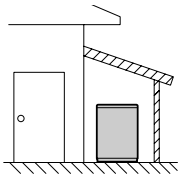
純正部品以外は使用しない

(事故の原因)



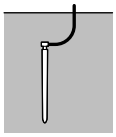
部品は必ず**石油瞬間給湯器純正部品(指定された部品)**を使用してください。

囲い禁止



機器や排気部を波板などで囲まないでください。不完全燃焼や火災の原因になります。

必ずアースをする



この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

高温注意

シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。
また、シャワーを使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。
リモコンの運転スイッチを「**切**」にしても機器内部の熱いお湯が出ることがありますので、お湯の温度を確かめて使用してください。

家庭用以外の使用禁止

この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。寿命が短くなったり、故障の原因になります。業務用に使用したときは、保証の対象外になります。
家庭の給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故の原因になることがあります。

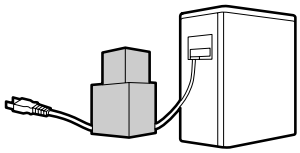
異常時使用禁止

万一異常(音・煙・臭いなど)を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

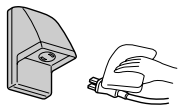
⚠注意(CAUTION)

電源コードを傷めない



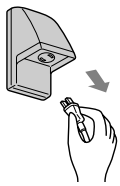
電源コードに無理な力を加えたり、物を載せないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

電源プラグのお手入れをする



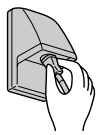
ときどきはリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてから電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

電源プラグを抜いて停止させない



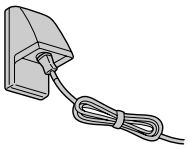
電源プラグを抜いて機器を停止させないでください。火災や感電の原因になります。必ずリモコンの運転スイッチを押して停止してください。

電源プラグは確実に差し込む



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。

電源コードは束ねたまま使用しない



電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。発熱や火災の原因になります。

濡れた手危険

電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあり、危険です。

安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災や事故の原因になります。21 ページ

長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。20 ページ

機器内部のお湯を排水するときはやけどに注意

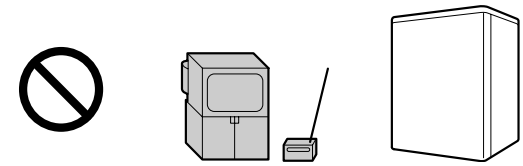
機器内部のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷えてから排水してください。

お願い(NOTICE)

高地で使用するときは ご相談を…（燃焼不良の原因）

標高 1,000 ～ 1,500m の高地で使用するときは販売店にご相談ください。
※標高 1,500m を超える場所では使用できません。

電気器具の近くに設置しない

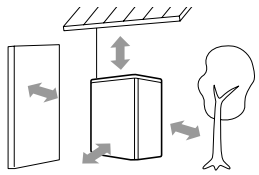


テレビやラジオなどの近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。
離して設置してください。

落雷のおそれがあるときの処置

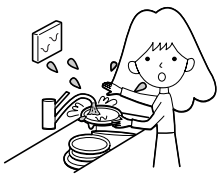
雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかにリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてから電源プラグをコンセントから抜いてください。雷がやんだ後は、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込んでください。

サービススペースの確保



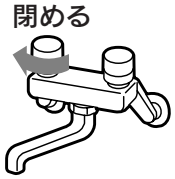
機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。前パネル側は必ず 60cm 以上あけてください。(工事説明書参照)

リモコンに水をかけない



リモコンに水をかけないでください。故障の原因になります。

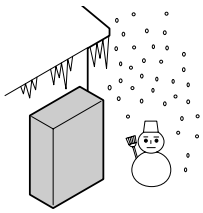
断水のときは



給湯栓を閉め、運転スイッチを押して「**切**」にしてください。

凍結に注意

（故障の原因）



冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。

19･20 ページ

混合水栓について

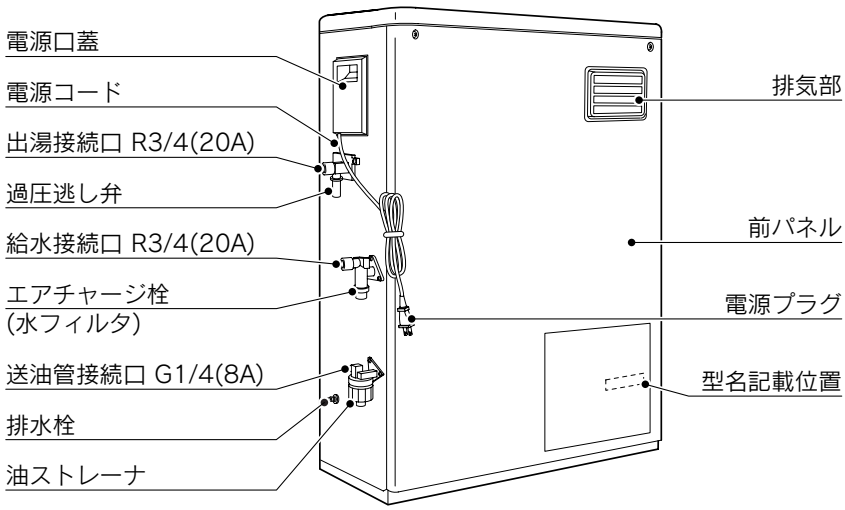
混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。
やけど防止のためサーモスタット付混合水栓（通水抵抗の少ないもの）の使用をおすすめします。リモコンの設定温度は湯温安定のため混合水栓の設定温度より高めにして使用することをおすすめします。

この機器は上水道用です

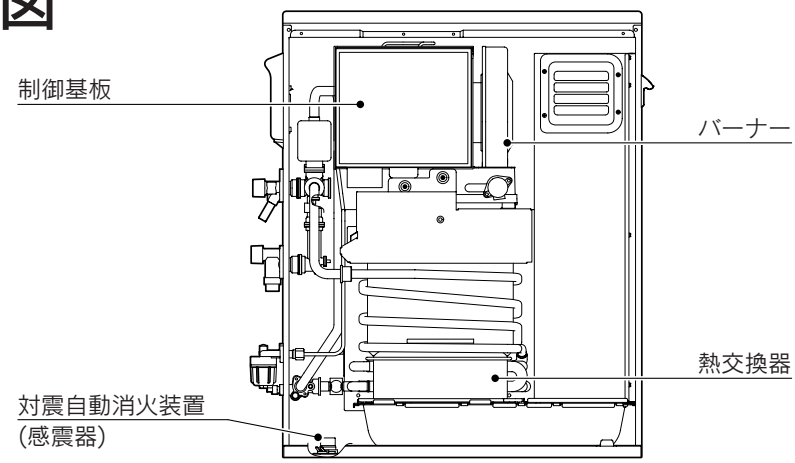
地下水・井戸水・温泉水を使用すると、水質によっては機器の熱交換器や配管内部に異物が付着し故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

各部の名称とはたらき

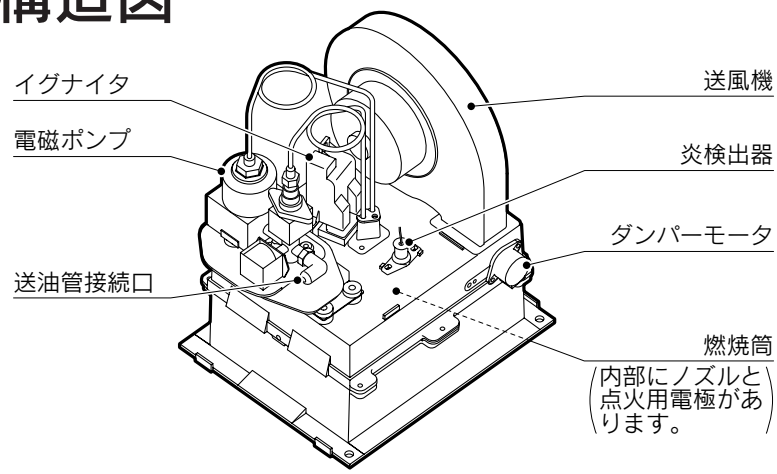
外観図



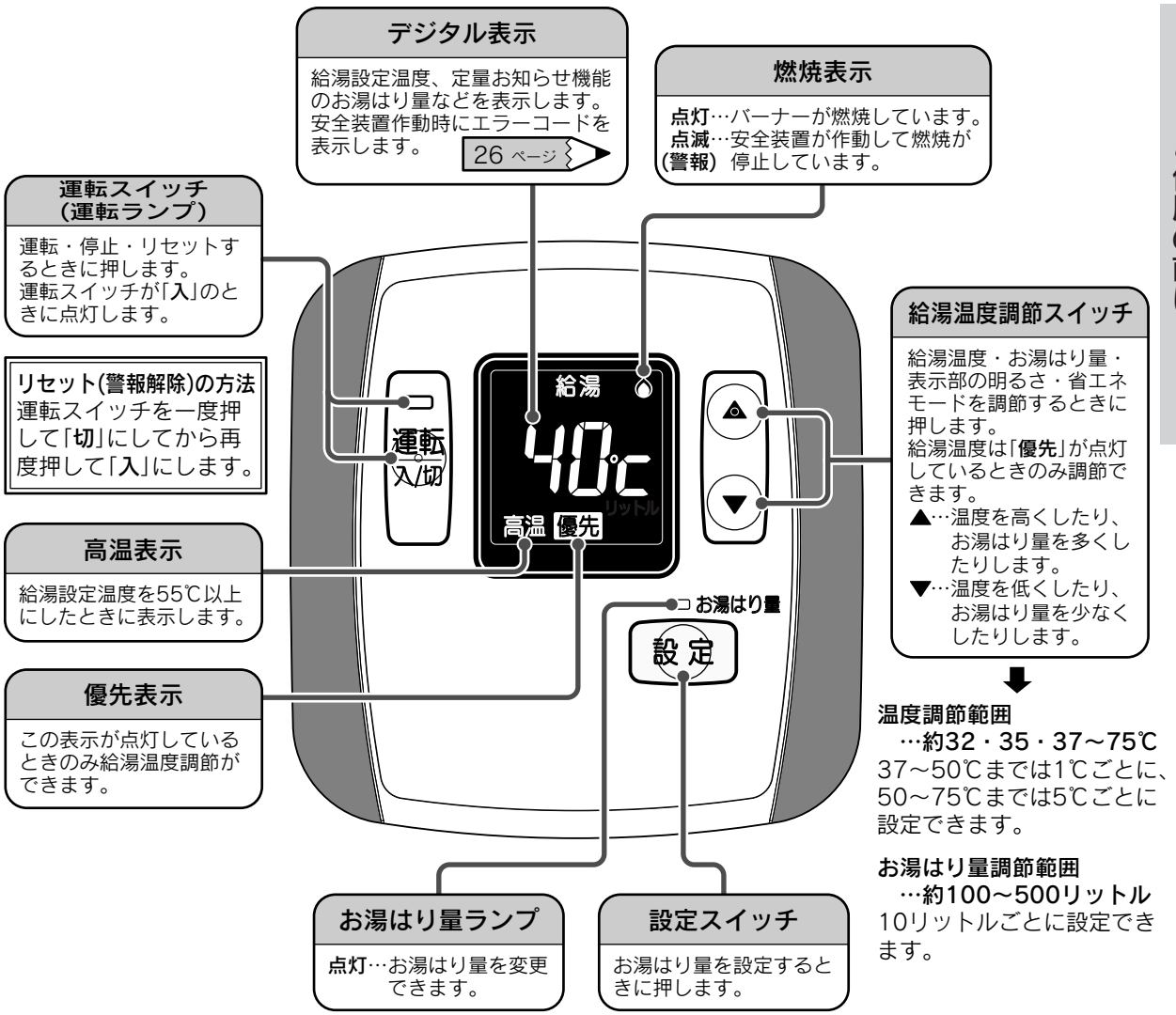
本体構造図



バーナー構造図



台所リモコン(別売部品・CMR-2203)



デジタル表示

給湯設定温度、定量お知らせ機能のお湯はり量などを表示します。
安全装置作動時にエラーコードを表示します。
26 ページ

燃焼表示

点灯…バーナーが燃焼しています。
点滅…安全装置が作動して燃焼が停止しています。
(警報)

運転スイッチ(運転ランプ)

運転・停止・リセットするときに押します。
運転スイッチが「**入**」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。

高温表示

給湯設定温度を55℃以上にしたときに表示します。

優先表示

この表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

給湯温度調節スイッチ

給湯温度・お湯はり量・表示部の明るさ・省エネモードを調節するときに押します。
給湯温度は「**優先**」が点灯しているときのみ調節できます。
▲…温度を高くしたり、お湯はり量を多くしたりします。
▼…温度を低くしたり、お湯はり量を少なくしたりします。

温度調節範囲
…約32・35・37～75℃
37～50℃までは1℃ごとに、50～75℃までは5℃ごとに設定できます。

お湯はり量調節範囲
…約100～500リットル
10リットルごとに設定できます。

お湯はり量ランプ

点灯…お湯はり量を変更できます。

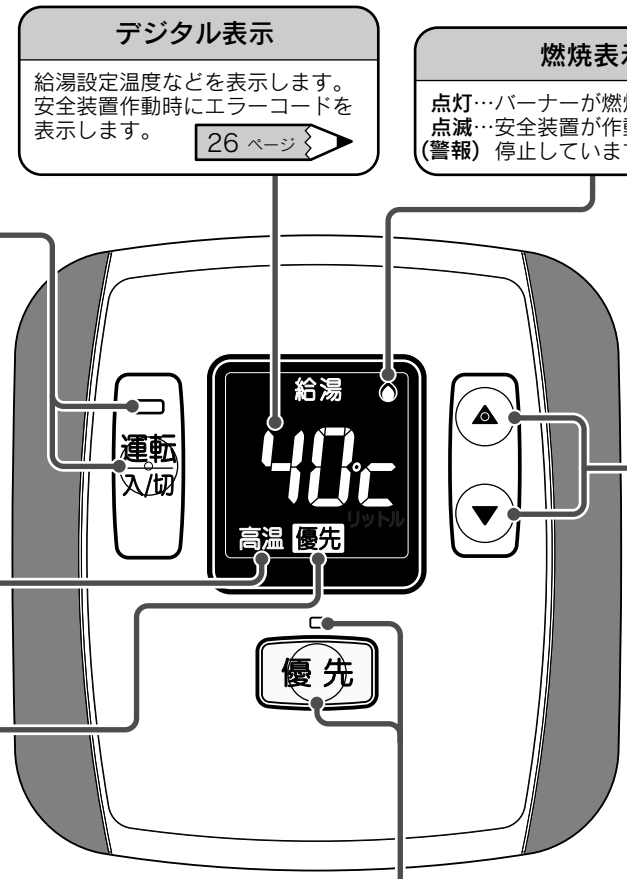
設定スイッチ

お湯はり量を設定するときに押します。

※表示は説明のためのもので、実際とは異なります。

各部の名称とはたらき

増設リモコン(別売部品・CMR-2203S)



デジタル表示

給湯設定温度などを表示します。
安全装置作動時にエラーコードを表示します。
26 ページ

燃焼表示

点灯…バーナーが燃焼しています。
点滅…安全装置が作動して燃焼が停止しています。
(警報)

運転スイッチ(運転ランプ)

運転・停止・リセットするときに押します。
運転スイッチが「**入**」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。

高温表示

給湯設定温度を55℃以上にしたときに表示します。

優先表示

この表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

給湯温度調節スイッチ

給湯温度・表示部の明るさ・省エネモードを調節するときに押します。
給湯温度は「**優先**」が点灯しているときのみ調節できます。
▲…温度を高くします。
▼…温度を低くします。

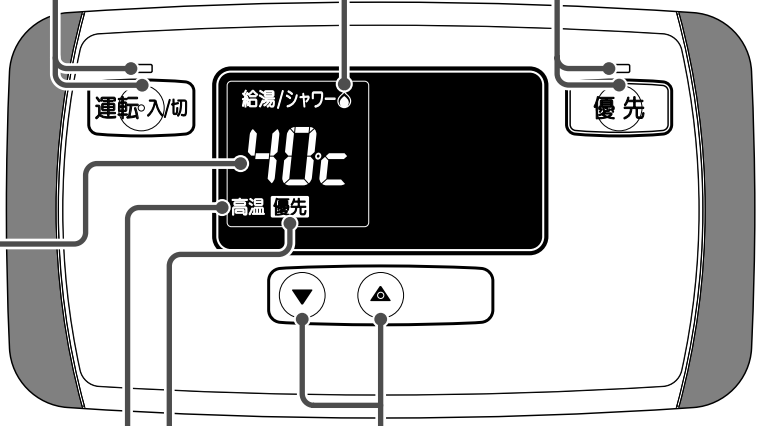
温度調節範囲
…約32・35・37～75℃
37～50℃までは1℃ごとに、
50～75℃までは5℃ごとに
設定できます。

優先スイッチ(優先ランプ)

増設リモコンで給湯温度を調節するときに押します。
このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

※表示は説明のためのもので、実際とは異なります。

防水形増設リモコン(別売部品・YST-2203)



運転スイッチ（運転ランプ）
運転・停止・リセットするときに押します。運転スイッチが「**入**」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法
運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから再度押して「**入**」にします。

燃焼表示
点灯…バーナーが燃焼しています。
点滅…安全装置が作動して燃焼が停止しています。
(警報)

優先スイッチ（優先ランプ）
防水形増設リモコンで給湯温度を調節するときに押します。
このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

デジタル表示
給湯設定温度などを表示します。
安全装置作動時にエラーコードを表示します。
26 ページ

高温表示
給湯設定温度を55℃以上にしたときに表示します。

優先表示
この表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

給湯温度調節スイッチ
給湯温度・表示部の明るさ・省エネモードを調節するときに押します。
給湯温度は「**優先**」が点灯しているときのみ調節できます。
▲…温度を高くします。
▼…温度を低くします。

温度調節範囲
…約32・35・37～75℃
37～50℃までは1℃ごとに、
50～75℃までは5℃ごとに
設定できます。

※表示は説明のためのもので、 実際とは異なります。

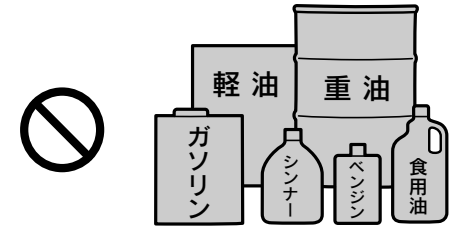
使用前の準備

燃料

⚠警告

●ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は、火災・故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

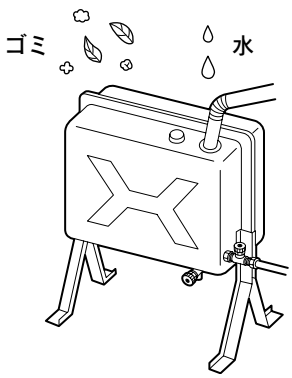
●燃料は灯油(JIS1 号灯油)を必ず使用してください。



給油

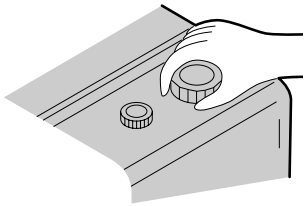
●給油は必ず消火を確かめてから行ってください。

1 給油の際の注意

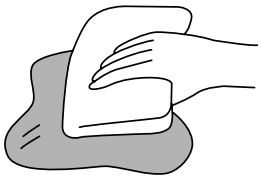


給油の際に水やゴミなどを入れないように特に注意してください。
水やゴミなどは燃焼不良やバーナーの寿命低下などの原因になります。

2 給油口ふたは確実に閉める



3 こぼれた灯油はふきとる



4 燃料切れしたときは

燃料切れをしたときは警報を表示してお知らせします。油タンクに灯油があることを確認後、リセットしてください。
(リセットすることにより、送油経路の空気抜きが行われます。)
何度もリセットを繰り返すと危険です。
2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

■リセット(警報解除)の方法
リモコンの運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから、再度押して「**入**」にします。

お知らせ

●燃料切れしたときは、送油経路の空気が抜けるまで振動音が出たり、点火しないで警報になることがありますが故障ではありません。警報になった場合はリセットしてください。
●何度も空運転(電磁ポンプ内に灯油がない状態での運転)をすると、電磁ポンプの寿命が短くなります。

油切れ予告装置(別売部品・OC-3)を取付けたとき

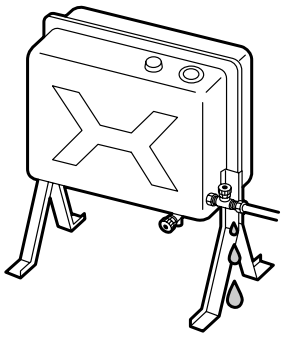
●灯油がなくなる前に、リモコンにエラーコード「**830**」を表示してお知らせします。「**830**」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

点火前の準備と確認

1 給水および水漏れの確認

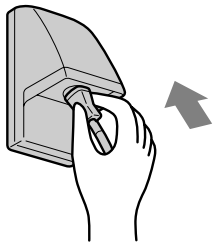
(1)給水元栓と給湯栓を開け、水が出ることを確認してください。
(2)機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

2 送油経路の点検



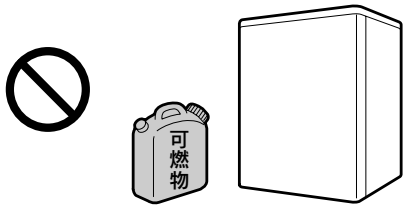
⚠注意
油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

3 電源プラグの確認



⚠注意
電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

4 周囲の点検



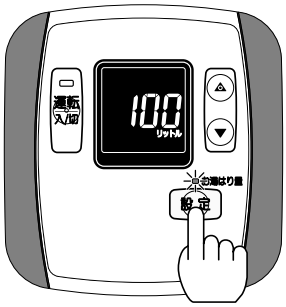
⚠注意
機器本体および排気部、油タンクの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

定量お知らせ機能

設定量のお湯が出ると台所リモコンのブザーが鳴り、お湯はり量のめやすをお知らせします。
浴そうにお湯を入れるときに使用すると便利です。台所リモコンのみ設定できます。

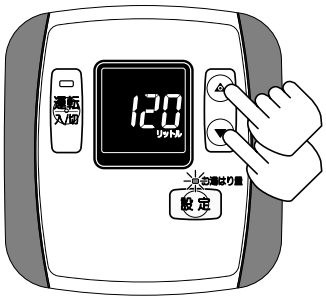
お湯はり量の設定方法

1 設定スイッチを押す



表示部に現在の設定量〔例「100」(100リットル)、「oFF」(定量お知らせ機能「**切**」)〕の表示が出ます。

2 お湯はり量を設定する



(1)給湯温度調節スイッチを押してご希望の量に設定します。
100～500リットルの範囲で10リットルごとに設定できます。
使用しないときは「oFF」に設定してください。

(2)設定スイッチを押します。
ブザーでお湯はり量の設定完了をお知らせします。

お知らせ

- お買い求め時にお湯はり量の設定は「oFF」(定量お知らせ機能「**切**」)になっています。
- 約42℃より高いお湯を浴そうに入れる場合は、設定量より少ない量でブザーが鳴ります。
- 台所リモコンからブザーが鳴っても、**お湯は自動的に止まりません**ので、必ず給湯栓を閉めてください。ブザーは給湯栓を閉めるか、リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にすると止まります。
- サーモスタット付混合水栓を使用する場合はリモコンの設定温度を混合水栓の設定温度より高くしてください。
- 機器への給水温度が30℃以上の場合は設定した量および温度になりません。
また、浴そうにお湯を入れているときに他の場所で大量にお湯を使用した場合や、季節により水温が変化した場合には、設定した量および温度にならないことがあります。
- お湯はりの途中に給湯栓を閉めると定量お知らせ機能は解除されます。また、浴そうにお湯が残ったまま給湯栓を開けると、あふれることがありますので注意してください。

使用方法

給湯運転

⚠注意

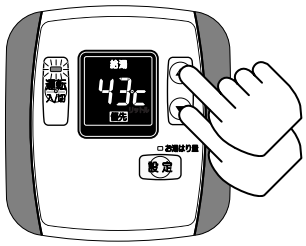
- ●シャワーを使用しているときは給湯設定温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯設定温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。
- ●シャワーを使用するときはリモコンの給湯設定温度を確認し、いきなり体や頭にかけずに必ず手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- ●給湯設定温度をよく確認してから使用してください。高温で使用した後、再度使用するときは特に注意してください。
- ●停電時や故障時でもお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

1 運転スイッチを押して「入」にする

すべてのリモコンの運転ランプが点灯します。
操作したリモコンの「**優先**」が点灯します。

2 給湯温度調節スイッチを押す

(給湯設定温度は一度設定すると次回変更するまで記憶しています。)



「**優先**」(優先ランプ)が点灯しているリモコンで温度調節ができます。
設定温度は32・35・37～75℃の範囲で調節できます。
55℃以上に設定したときは「**高温**」が点灯します。

3 給湯栓を開ける

温度が下がると自動的にバーナーが点火し、 燃焼表示が点灯してお湯が出ます。
お湯にならないときは、給湯栓をもう少し開けてください。

4 給湯栓を閉めて停止する

長時間使用しないときはリモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてください。
すべてのリモコンの運転ランプが消灯します。
(凍結のおそれがあるときは凍結予防の処置を行ってください。)

19・20 ページ

お知らせ

- ●サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、給湯設定温度をサーモスタット付混合水栓の設定温度より高くしてください。低い温度に設定すると、混合水栓から出てくるお湯の温度が希望の温度にならないことがあります。
- ●サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの設定温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
- ●じゃ口から出る水が少ないときは、着火しないことがあります。
  着火できる最小の流量は、毎分約３リットルです。

リモコンの優先について

- ●台所・洗面所・浴室などには機器から同じ温度のお湯が供給されています。そのためお湯を使用中に他の人が給湯設定温度を変更するとお湯の温度が変わり、やけどをしたり冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。このような事故を防止するため、リモコンを複数取付けているときは優先権があるリモコンしか給湯設定温度が変更できないようになっています。
- ●優先権があるリモコンには、優先ランプ、「**優先**」が点灯しています。
  (台所リモコンには優先スイッチと優先ランプはありません。)

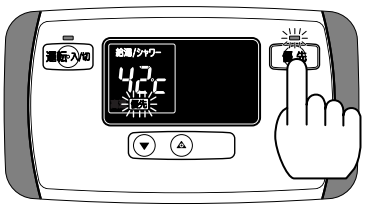
⚠注意

- ●シャワーを使用しているときは給湯設定温度の変更、優先切換えをしないでください。突然熱湯が出てやけどのおそれがあります。給湯設定温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。

防水形増設リモコンを優先にするとき

防水形増設リモコンの優先スイッチを押す

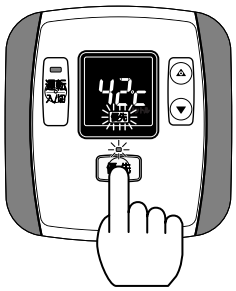
優先ランプ、「**優先**」が点灯して、給湯温度の調節ができるようになります。



増設リモコンを優先にするとき

増設リモコンの優先スイッチを押す

優先ランプ、「**優先**」が点灯して、給湯温度の調節ができるようになります。
ただし、防水形増設リモコンが優先になっているときは増設リモコンの優先スイッチを押しても優先になりません。



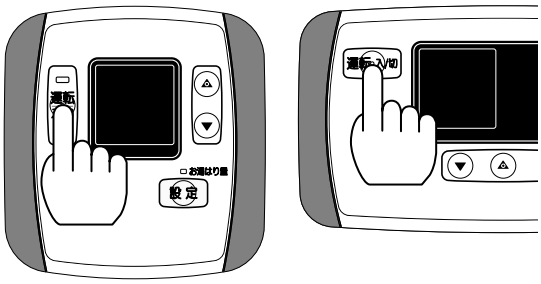
お知らせ

- ●防水形増設リモコンまたは増設リモコンが優先になっているときに、そのリモコンの優先スイッチを押すと優先が解除され台所リモコンが優先になります。

表示部明るさの設定

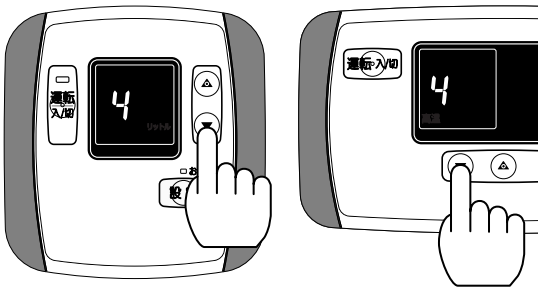
●表示部の明るさを変更することができます。

1 運転スイッチを押して「切」にする



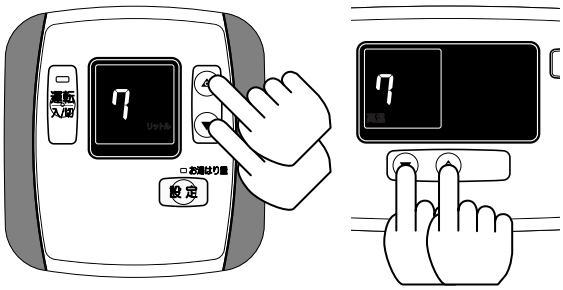
※運転スイッチが「入」のとき

2 給湯温度調節スイッチ▼を約５秒間押す



現在の設定を表示します。

3 給湯温度調節スイッチを押す



給湯温度調節スイッチを押すごとに「1(暗)↔2…6↔7(明)」の順で変更できます。
約 20 秒間操作をしないと設定が完了します。運転スイッチを押しても設定を完了します。

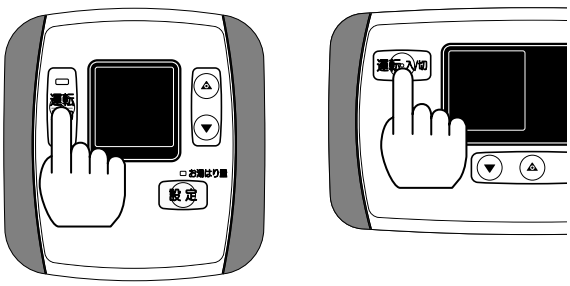
お知らせ

●お買い求め時には「4」に設定されています。
●リモコンごとに設定することができます。

表示部省エネモードの設定

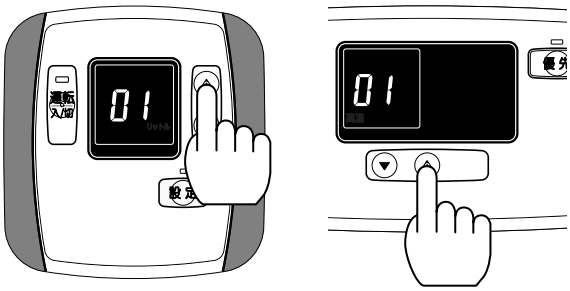
●表示部の明るさを使用状況に応じて変更することができます。

1 運転スイッチを押して「切」にする



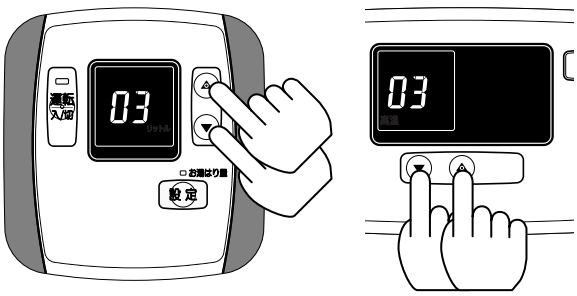
※運転スイッチが「入」のとき

2 給湯温度調節スイッチ▲を約５秒間押す



現在の設定を表示します。

3 給湯温度調節スイッチを押す



ご希望の表示部省エネモードを選択します。
約 20 秒間操作をしないと設定が完了します。運転スイッチを押しても設定を完了します。

お知らせ

●お買い求め時には「01」に設定しています。
●リモコンごとに設定することができます。
●「01」「02」に設定していても、給湯設定温度を 55℃以上に設定しているときは、常に明るく表示します。

表示	内　容
01	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時は設定した明るさより暗い節約モードになります。(操作終了から約 25 分後)
02	通常使用時は設定した明るさで表示、待機時はバックライトを消灯します。(操作終了から約 25 分後)
03	常に設定した明るさで表示します。
04	常にバックライトを消灯します。

給湯量と給湯温度の早見表

●給湯量と給湯温度の関係は次のようになります。
最大給湯量は毎分約 32 リットル、最小給湯量は毎分約 3 リットルです。
●最大給湯量は給水温度・給水圧・混合水栓・配管などの諸条件により異なります。

● IBF-3870D・IBF-3870DS の場合

給湯量(L /min)			
給湯温度	給水温度		
	5℃（冬期）	15℃（春期･秋期）	25℃（夏期）
37℃	約17	約25	約 32
45℃	約14	約18	約 28
55℃	約11	約14	約 18
65℃	約9	約11	約 14

● IBF-4730D・IBF-4730DS の場合

給湯量(L /min)			
給湯温度	給水温度		
	5℃（冬期）	15℃（春期･秋期）	25℃（夏期）
37℃	約20	約30	約32
45℃	約16	約22	
55℃	約13	約16	約22
65℃	約11	約13	約16

使用上の注意

⚠注意

排気部に注意

燃焼中や消火直後の排気部は高温です。手など触れないように注意してください。
やけどのおそれがあります。

高温注意

シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワーを使用中は使用者以外の人がお湯の温度を変更しないでください。やけどのおそれがあります。
リモコンの運転スイッチを「**切**」にしても機器内部の熱いお湯が出ることがありますので、お湯の温度を確かめて使用してください。

安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。
処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災や事故の原因になります。

21 ページ

機器内の水について

機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより水質が変わることがあります。飲用または調理に使用しないでください。

油切れに注意

油タンクを空にしないように注意してください。
何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。
別売部品の油切れ予告装置を取付けると、リモコンで給油のタイミングをお知らせします。

26・27 ページ

日常の点検・手入れを行う

23・24 ページ

停電後の使用方法

停電すると機器は停止します。再通電後は運転を行いません。
いずれかのリモコンの運転スイッチを押して「**入**」にして使用してください。
停電中は給湯栓を閉めてください。

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは、凍結予防の「**機器内の水を抜く方法**」に従って水抜きを行ってください。

20 ページ

地震などの被害があったとき

運転スイッチを押して「**切**」にし、電源プラグを抜いて使用を中止してください。
機器の損害を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

冬期に停電したとき

凍結により機器が破損するおそれがありますので、凍結予防の「**じゃ口から水を流す方法**」または「**機器内の水を抜く方法**」に従って凍結予防を行ってください。

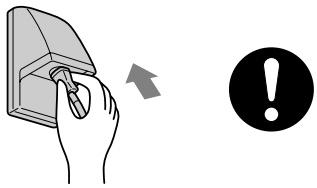
19・20 ページ

凍結予防

●冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも寒波のために、機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。

凍結予防装置による方法(自動)

電源プラグの確認



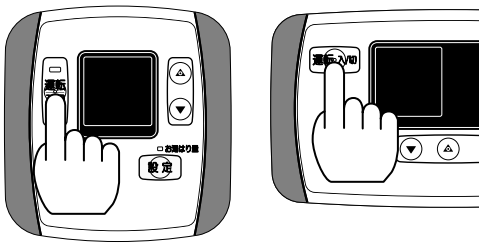
⚠注意

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

冷え込みが厳しい場合は凍結予防装置だけでは効果がありませんので、「**じゃ口から水を流す方法**」、「**機器内の水を抜く方法**」の処置を行ってください。

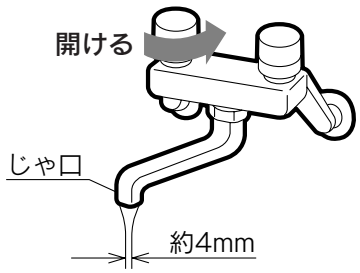
じゃ口から水を流す方法

1 運転スイッチを押して「切」にする



※運転スイッチが「**入**」のとき

2 給湯栓を開ける



2 ハンドル混合水栓の湯側を開けて、じゃ口から 1 分間に 400cc 程度(約 4mm)の水を流したままにします。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを湯側にして開けてください。

お知らせ

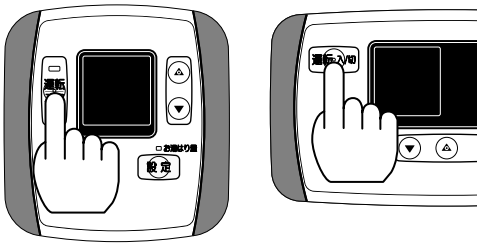
●機器だけでなく、配管やバルブなどの凍結予防にもなります。
●流量が不安定なことがありますので、30 分後にもう一度確認してください。
●この機器には凍結予防装置が内蔵されていますので、電源プラグは抜かないでください。

機器内の水を抜く方法（凍結予防装置は作動しません）

⚠注意

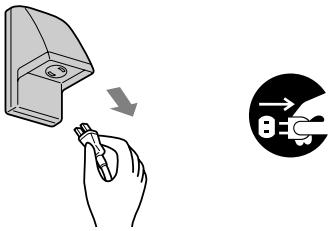
●水を抜くときは必ず機器が冷えてから行ってください。
冷えた状態で行わないと熱いお湯が出て危険です。

1 運転スイッチを押して「切」にする



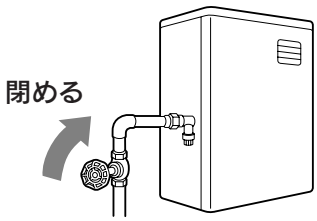
※運転スイッチが「入」のとき

2 電源プラグを抜く

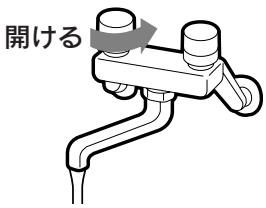


送風機が停止してから、電源プラグを抜いてください。

3 給水元栓を閉める

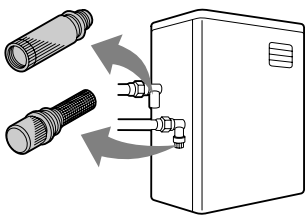


4 給湯栓を開ける

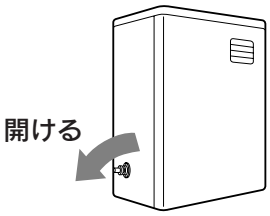


シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを湯側にして開けてください。

5 過圧逃し弁・エアチャージ栓をはずす



6 過圧逃し弁・エアチャージ栓をはずした部分から水が出なくなった後、排水栓を開ける



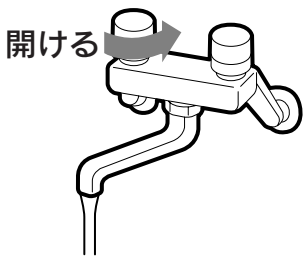
お知らせ

●配管・バルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。
●はずした過圧逃し弁・エアチャージ栓は紛失しないでください。

運転再開始時の注意

●機器を運転する前には必ず排水栓を閉め、過圧逃し弁・エアチャージ栓を元通りに取付け、給水元栓を開けてから水が出ることを確認してください。
その後、「**使用前の準備**」·「**使用方法**」に従って使用してください。9～18 ページ
確認しないで運転すると機器が破損することがあります。

水が出ることを確認



●機器からできるだけ離れた 1 箇所の給湯栓を開けて、水が出ることを確認してください。
●水が出にくいときには凍結していることがありますので、水が正常に出るようになってから運転してください。

安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
対震自動消火装置（感震器）	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して自動停止します。	周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認して、リセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
燃焼制御装置（制御基板）	バーナーが着火ミスや失火、異常燃焼したときに作動して自動停止します。	作動原因を処置してリセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して自動停止します。	再通電後は運転停止になりますので、再使用時はリモコンの運転スイッチを押して「**入**」にしてください。

■リセット(警報解除)の方法
リモコンの運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから、再度押して「**入**」にします。

その他の装置

その他の装置	はたらき	装置が作動したあとは
異常過熱防止装置 (ハイリミット)	サーミスタ、燃焼制御装置(制御基板)の故障、空だきなどにより熱交換器が異常に過熱したときに作動して自動停止します。	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
温度ヒューズ (184℃)		
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように凍結予防ヒータが自動的に作動し、保温します。	機器を運転したときや凍結のおそれがなくなると自動的に切れます。
電流ヒューズ (10A)	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動停止します。	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
送風機ヒューズ (3A)		
過圧逃し弁	熱交換器内の圧力が異常に上昇したときに作動して、圧力を外部に逃して熱交換器内を保護します。	給湯栓を閉めた場合に少量の水が出ても故障ではありません。連続して出る場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
油切れ予告装置 (別売部品)	油タンク内の灯油の残量が少なくなると、エラーコードを表示してお知らせします。	エラーコードが表示されても、バーナーはしばらく燃焼しますが、すみやかに給油してください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

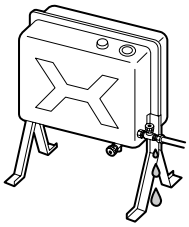
⚠注意

●点検・手入れは必ず消火後、機器が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
●点検・手入れのときは金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
●点検・手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。
●部品の分解・調整は絶対にしないでください。
●異常があるときは販売店にご連絡ください。

点検・手入れの時期、必要項目、方法

毎日

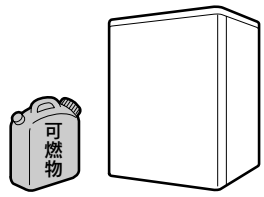
油漏れ、油のたまり、油のにじみ



⚠注意

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

周囲の可燃物

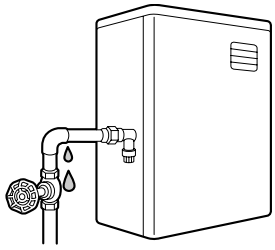


⚠注意

機器、排気部および油タンクの周囲に可燃物や危険物がないことを確認してください。

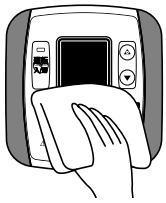
適時に

水漏れ



機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

リモコン



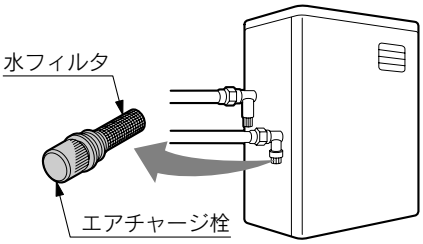
水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装がはがれたり、傷の原因となります。

1 年に 1 回以上

水フィルタの掃除

配管内のゴミが水フィルタにたまると湯が出にくくなりますので、定期的に水フィルタを掃除してください。

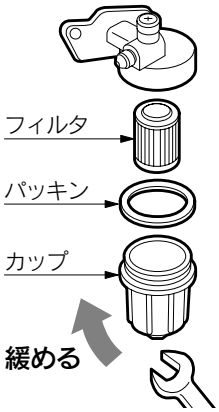
(1)給水元栓を閉め、エアチャージ栓をはずします。
(2)エアチャージ栓についている水フィルタを掃除します。
　水フィルタを変形させないようにしてください。
(3)エアチャージ栓を取付け、給水元栓を開けた後、給湯栓を開け、配管内の空気を抜いてください。



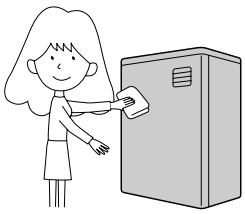
油ストレーナの点検

油に水やゴミが混入した場合は、油ストレーナの下にたまります。
次の要領で掃除を行ってください。

(1)油タンクの送油バルブを閉めます。
(2)油ストレーナの下に受皿を置きます。
(3)油ストレーナのカップを回してはずし、中の水やゴミを捨てます。
(4)フィルタをきれいな灯油で洗います。
(5)元のように組んで送油バルブを開け、空気抜きを行います。
※油ストレーナに水がたまる場合は、油タンクの水抜きも行ってください。

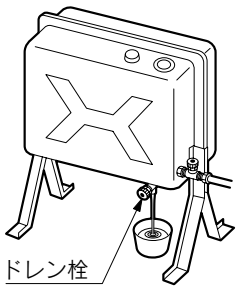


ほこり



機器外面にほこりがたまっていたり、汚れていたら、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。
特に機器背面の空気取入部にたまったほこりをふきとってください。

油タンク



油タンク内に空気中の水分が結露して水がたまりますので、タンクのドレン栓を開けて必ず抜きとってください。

上手に使ってね

定期点検

●長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
　機器を安心して長くご使用いただくために、1 年に 1 回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
●定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

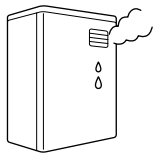
法定点検

●この機器は、消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。(製品の所有者などの責務：消安法第 32 条の 14)
●この機器の設計標準使用期間 10 年の前後それぞれ 1 年間(製造後 9 年から 11 年)を法定点検時期と設定しています。ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、**添付のはがき(所有者票)に必要事項をご記入のうえ、必ず返送してください。**
●詳しくは「**特定保守製品についての説明書**」をご覧ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

修理を依頼する前に

●次のような場合は故障ではありません。
修理を依頼する前にもう一度確認してください。

現　　象	説　　明
排気部から白煙や湯気が出る	排ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えます。 
お湯が白く見える	水中に溶けていた空気が分離して白く見えるためです。
給湯温度・給湯量が不安定なことがある	他の給湯栓を同時に使用するとお湯が熱くなったり、ぬるくなったり、給湯量が少なくなることがあります。 また、給湯栓を絞りすぎると(毎分約 3 リットル以下)点火しなくなる場合があります。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出ない	機器から給湯栓までは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
油を切らした後、給油しても火がつかない	油が切れた後、給油したときは送油経路の空気抜きを行わないと火がつきません。10 ページ
お湯の出が悪くなった	水フィルタや給湯栓のフィルタにゴミがつまっているためです。掃除してください。24 ページ
運転スイッチを押して「**切**」にしてもしばらくの間、送風機が回っている	燃焼室内の排ガスを排出するためです。
停電後、リモコンの表示が出ない	リモコンの運転スイッチを押して「**入**」にすると表示が出ます。
温度調節しても湯温が変わらない	リモコンの「**優先**」が点灯していないと温度を変更できません。
過圧逃し弁からお湯が出る	熱交換器内の圧力が上がりすぎないように上昇した圧力を逃すためです。
リモコンの表面が熱く感じる	使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じることがあります。リモコンの運転スイッチを「**切**」にしていても電子回路が作動していますので、発熱があります。

エラーコード一覧

●エラーコードをそれぞれのリモコンの**表示部**に表示します。
●エラーコードが表示されたときは以下の処置を行ってください。
●確認・処置後リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

エラーコード	説　明	確　認・処　置
100	対震自動消火装置作動	機器および周囲に異常がないことを確認後、リセットしてください。
111	着火ミス	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。何度もリセットを繰り返すと危険です。2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。
121 510	途中失火	
140	温度ヒューズ作動	お買い求めの販売店にご連絡ください。
150 160 590	異常過熱防止装置作動	
161	給湯温度異常	
170	バーナー温度異常	
311	給水サーミスタ異常	
321	給湯サーミスタ異常	
330	缶体出口サーミスタ異常	
350	油サーミスタ異常	
470	バーナーサーミスタ異常	
550	ダンパーモータ異常	
611	送風機異常	
651	水比例弁異常	電源プラグを差し直してください。
661	混合弁異常	
721	炎検出器異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
730	制御基板(記憶回路)異常	リセットしてください。
740 750 760	通信異常	電源プラグを差し直してください。
830	油切れ予告装置作動 (別売部品)	油タンクに給油してください。

■リセット(警報解除)の方法
リモコンの運転スイッチを一度押して「**切**」にしてから、再度押して「**入**」にします。

部品交換について

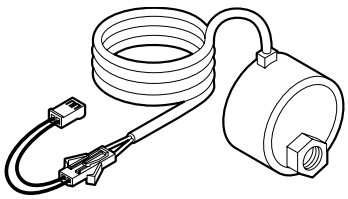
部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

●部品は必ず**石油瞬間給湯器純正部品(指定された部品)**を使用してください。
●故障したままで使用しないでください。
●故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

別売部品について

油切れ予告装置(OC-3)

この機器には油切れ予告装置を取付けることができます。
取付けは販売店にご相談ください。



仕　様

型名		IBF-3870D IBF-3870DS	IBF-4730D IBF-4730DS
型式の呼び		IBF-387	IBF-473
種類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・屋外用開放形	
点火方式		高圧放電式	
最低作動水量		3.0 ± 0.5L/min	
使用燃料		灯油(JIS1 号灯油)	
燃料消費量		44.1kW(4.29L/h)	54.0kW(5.25L/h)
連続給湯効率		87.0%	86.5%
連続給湯出力		38.4kW(33,000kcal/h)	46.5kW(40,000kcal/h)
熱交換器容量		1.0L	
使用圧力(最高使用圧力)		1.0MPa(10kgf/cm^2)	
伝熱面積		0.33m^2	
外形寸法		高さ 671mm　幅 540mm　奥行 248mm	
質量		31kg	
電源電圧及び周波数		100 V　50/60Hz	
定格消費電力	給湯使用	点火時 99/94W 燃焼時 83/78W	点火時 110/105W 燃焼時 95/90W
	待機時	2.0W	
排気温度		260℃以下	
騒音レベル		45dB(A)	47dB(A)
ノズル	噴霧量	1.45GPH リターンノズル	
	スプレーパターン	エバーロイ社セミフォロー	
	噴霧角度	70˚	
電流ヒューズ		10A	
送風機ヒューズ		3A	
温度ヒューズ		184℃	
安全装置		対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置	
その他の装置		異常過熱防止装置・温度ヒューズ・凍結予防装置・電流ヒューズ 送風機ヒューズ・過圧逃し弁・油切れ予告装置(別売部品)	
付属品		給水口保温材・出湯口保温材・転倒防止金具・送油管 取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋	
別売部品		台所リモコンセット・増設リモコン・防水形増設リモコン 油切れ予告装置・リモコンコード	
バーナー型名		SB-4730D	
区分名(省エネ法)		A	
エネルギー消費効率		87.0%	86.5%

アフターサービス

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に 25・26 ページの「**故障・異常の見分けかたと処置方法**」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

1. **品　　名……石油瞬間給湯器**
2. **型　　名……機器の前パネルに貼ってあるシールに記載されています。**
   IBF-3870D・IBF-3870DS
   IBF-4730D・IBF-4730DS
   5ページ
3. **お買い上げ年月日**
4. **故障の状況……できるだけ詳しく**
5. **ご住所、お名前、電話番号**
6. **訪問ご希望日**

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています(巻末)

●正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。

●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。

●家庭用の給湯以外の特殊な使用方法でのクレーム発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。

●凍結やスケール(石灰づまり)による故障の場合は保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品について

石油小形給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 11 年です

●性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け

据付工事は販売店に依頼する

据付けや移動工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「**特に注意していただきたいこと**」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談してください。
また、「**標準据付例**」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
移設は販売店に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「**特に注意していただきたいこと**」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられているかどうか確認してください。

試運転

(試運転はお買い求めの販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。)

運転準備

準備内容(確認事項)	チェック
(1)油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
(2)油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
(3)送油管が逆Ｕ字型になっていませんか。	
(4)給水元栓を開け、給湯栓を開けると水が出ますか。	
(5)機器や配管から水漏れはありませんか。	
(6)リモコンの端子は確実に接続されていますか。	
(7)電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	

運転

(1)運転開始手順
　リモコンの運転スイッチを押して「**入**」にして、給湯栓を開けてください。
　給湯温度調節スイッチでご希望の温度に調節してください。

(2)初期運転時の異常現象
　運転開始時に電磁ポンプから「**ビービー**」という音が出ますが、しばらくすると静かになり、燃焼をはじめます。
　燃焼しない場合はもう一度送油経路の空気抜きを行ってください。10 ページ

(3)正常運転のめやす
　湯温調節ができるか、排気部からススや煙が出ていないか、また異音がしていないか確認してください。

(4)停止
　給湯栓を閉めると燃焼表示が消灯し、バーナーが停止します。
　リモコンの運転スイッチを押して「**切**」にしてください。

お知らせ

●試運転時は内部の防錆油が燃える(気化する)ため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると防錆油が燃える煙や臭いは出なくなります。
●リモコンの燃焼表示が点滅してバーナーが停止した場合は、エラーコードを参照して原因を調べて処置してください。26 ページ

長府石油瞬間給湯器保証書(販売店様控)

型　　名	IBF-3870D・IBF-3870DS IBF-4730D・IBF-4730DS
★製造番号	No.
保証期間	1　年

★お買い上げ日	年　月　日
★お　客　様	ご住所 お名前　様 電話　(　)
★販　売　店	住所・店名 ㊞ 電話　(　)

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

(1) 本保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、本保証書は切り取り線より切り取り保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。

(2)本保証書に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

△切り取り線▽

株式会社 長府製作所　〒752-8555　山口県下関市長府扇町2-1　☎(083)248-1111

長府石油瞬間給湯器保証書(お客様控)

型　　名	IBF-3870D・IBF-3870DS IBF-4730D・IBF-4730DS
★製造番号	No.
保証期間	1　年

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より向こう一年間、本書記載内容に従って、無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

★お買い上げ日	年　月　日
★お客様	ご住所 お名前　様 電話　(　)
★販売店	住所・店名　㊞ 電話　(　)

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で、本保証書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏面記載の最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合は有料修理となります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

(1)住宅用途以外で使用した場合の不具合
(2)使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
(3)一般家庭用以外(業務用)に使用したことに起因する不具合
(4)専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
(5)弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
(6)建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
(7)海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
(8)犬・猫・ねずみ・昆虫等の動物の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
(9)火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
(10)消耗部品の消耗に起因する不具合
(11)給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
(12)地下水・井戸水・温泉水等を給水したことに起因する不具合
(13)公害による不具合
(14)電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
(15)指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

1. この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏面記載の最寄りの工場・支店・営業所にお問い合わせください。
3. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

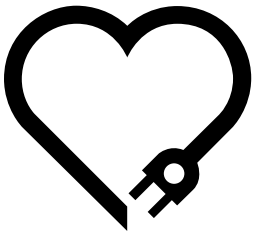
株式会社 長府製作所　〒752-8555　山口県下関市長府扇町2-1　☎(083)248-1111

おぼえがき

お買い上げ日	年　　月　　日
販売店名	
	電話番号

●記入しておくと修理などの依頼のときに便利です。

愛情点検



長年ご使用の石油給湯器の点検を！

こんな症状はありませんか?

●油漏れがある。
●煙が出たり、強い臭いがする。
●運転中にこげくさい臭いがする。
●異常な音や振動がする。
●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理を相談してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU 長府製作所

●本社 ——— 山口県下関市長府扇町2-1
●お問い合わせ先

本社・営業部	〒752-8555	下関市長府扇町2-1	☎(083)248-1111 FAX(083)248-1906
北海道販売センター	〒003-0809	札幌市白石区菊水九条2-3-1	☎(011)813-2210
盛岡営業所	〒020-0122	盛岡市みたけ5-15-50	☎(019)641-0811
仙台営業所	〒980-0012	仙台市青葉区錦町1-4-6	☎(022)264-0311
宇都宮工場・営業部	〒321-3231	宇都宮市清原工業団地30番	☎(028)667-6111
大宮営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町4-16-30	☎(048)653-8111
東京支店	〒160-0022	新宿区新宿5-14-6	☎(03)5369-3511
横浜営業所	〒224-0003	横浜市都筑区中川中央1-36-21	☎(045)912-3111
千葉営業所	〒261-0001	千葉市美浜区幸町2-24-32	☎(043)248-4111
名古屋営業所	〒465-0095	名古屋市名東区高社1-72-1	☎(052)779-2111
金沢営業所	〒921-8550	金沢市玉鉾4-17	☎(076)292-3111
滋賀工場・営業部	〒520-2394	野洲市野洲1473-1	☎(077)588-4111
大阪支店	〒564-0053	吹田市江の木町18-27	☎(06)6338-7111
香川営業所	〒764-8510	仲多度郡多度津町東港町7-8	☎(0877)33-2311
岡山営業所	〒700-0976	岡山市北区辰巳3-111	☎(086)245-1111
広島営業所	〒732-0811	広島市南区段原1-1-1	☎(082)261-5111
福岡営業所	〒812-0063	福岡市東区原田4-2-7	☎(092)629-5111
沖縄営業所	〒901-2101	浦添市西原3-18-10	☎(098)877-3111